



## 市民の皆様へ 退任のごあいさつ

やまぐち こうたろう  
千歳市長 山口 幸太郎

ダス株式会社との立地決定など、本市が持つ可能性を内外に示すことができた多くの出来事がありました。

これらを市民の皆様と一緒に実現できたことは無上の喜びであります。

今後も、本市が持つ様々な特性や優位性に加え、「都市力」と「市民力」を最大限に活かすことで、千歳市が発展を続け、市民の皆様が「住んでよかった」「住み続けたい」と思えるまちとなることを切に願っております。

結びになります。千歳市のさらなる発展と市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、これまでいただきましてご厚情、ご支援、ご協力に重ねて感謝御礼を申し上げます。退任のあいさついたします。

このたび、4月26日の任期満了をもちまして、市長の職を退任することにいたしました。

市民の皆様には、5期20年にわたる市政へのご理解とご協力で心から感謝申し上げます。

この20年を振り返りますと、時代は平成から令和へと移り変わり、特にこの3年間においては、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、私たちの生活様式と価値観は大きく変化しました。

私は、就任以来、市民一人ひとりが持つ知識や経験などの「市民力」と、本市が持つ特性や資源などの「都市力」、この二つの原動力をもって市

民協働によりまちの活力が循環し、持続していく流れを作り上げることが自身の使命であると認識し、市民の健康を守り地域経済を活性化するため、これまで様々な施策に取り組んでまいりました。

就任当初に実施した「財政健全化対策」の取組をはじめ、「新千歳空港の深夜・早朝枠の拡大」、12社を超える「企業誘致」、「自衛隊の体制維持・強化」のほか、今後10年間のまちの方向性を示す「第7期総合計画」を策定したことなどは、いずれも市民の皆様のご理解とご協力がなければ成し得なかったものです。

さらに、最近では、最先端半導体の国産化を目指すラピ

## 先生、教えて!



市立千歳市民病院 地域医療連携課  
☎(24)3000 内線 8138

### 子どもの 食物アレルギー



市立千歳市民病院  
小児科診療科長 中本 哲

今月号では、子どもの食物アレルギーの診断と治療について紹介します。

食物アレルギーの診断には、「食べて症状が出るかどうか」がとても重要です。

まずは詳しい聞き取りを行うので、食べたものがわかるメニュー表や成分表、写真などを病院にお持ちください。原因を確定するために、血液検査（特異的IgE検査）や皮膚テスト、病院で実際に食べてもらい症状を確認する経口負荷試験を行います。症状が出たことのない子どもには検査は必要ありません。

また、IgGを調べる「遅延型アレルギー」検査は、アレルギー学会では推奨されていません。10年くらい前までは、アレルギーを食べないこと

（完全除去）が主な治療でしたが、近年は、少しずつでも食べた方が治りやすいことがわかってきました。ただし、わずかな量を食べてだけで危険な症状（アナフィラキシー）が出る人もいるため、アレルギー学会のガイドラインでは、経口負荷試験を行い、食べても症状が出ない量を調べて、安全な量を食べることを推奨しています。「少しずつ食べて食物アレルギーを治したい」という方は必ず病院にご相談ください。

なお、給食については、かかりつけ医が「アレルギー疾患生活管理指導表」を作成しますので、学校などにご提出ください。

食物アレルギーを恐れて離乳食を遅らせる必要はありませんが、心配な食品を初めて食べる際には、米粒くらいの少量から食べさせましょう。